

# 宇治田原町教育委員会定例会議事概要

## 令和4年第5回

日 時 令和4年5月24日(火) 14時開会

場 所 宇治田原町役場 2階 会議室202

### 出席委員

(教育長) 奥村 博巳

(教育委員)

教育長職務代理者 大嶋 良孝

委員 杉野 三千代

委員 川崎 文男

### 欠席委員

(教育委員)

委員 播磨 幸博

### 出席職員職氏名

教育次長兼学校教育課長 黒川 剛

学校教育課課長補佐 杉浦 恒

### 書記職員職氏名

学校教育課教育総務係長 星野 聖美

### 傍聴者

なし

- 1 開会 教育長が第5回宇治田原町教育委員会定例会の開会を宣言する。
- 2 教育長あいさつ
- 3 議事録承認

令和4年第4回宇治田原町教育委員会定例会議事録の承認

#### 4 議事

##### 1) 付議案件

なし

##### (2) 報告事項

##### ア 学校教育課所管事項について

- ・タブレット端末の利用状況について

(説明)

町小中学校の児童生徒に一人一台端末が貸与されて1年がたとうとしている。3小中ともロイロノートというソフトを中心に授業で活用している。ロイロノートは電子上のノートで、個人で整理したノートをグループで共有したり、担任に送るなどでき、それらを昨年度導入した電子黒板で表示したり、グループでの検討に用いたり、主体的・対話的な深い学びにつなげることができる。

その他、Keynote(プレゼンソフト)、iMovie(動画編集ソフト)、Clipps(動画編集ソフト)などを授業で用いるなど、用途が広がっているところ。

また、教員がTeamsというアプリを利用して、教員同士、また学校間の情報共有を行っている。今後は小中一貫の各部会でもグループを作成し、情報共有を密にしながら、より意思疎通のとれた教育課程を実施していく。

(質疑)

<委員> 以前に持ち帰りのために接続状況調査を行ったが、それ以降持ち帰りはしていないのか。

<事務局> Wi-Fi環境の整っていない家庭にはルーターを貸し出す等、持ち帰ること自体は可能になっている。今後持ち帰って家庭で何をさせるかということについて

学校とも情報共有し、持ち帰っての学習に繋げようとしている。

<委員> 個人が持つとなると、アプリの管理をきっちりとしなないといけない。また、サーバーはどこにあるのか。オンライン学習に対する評価は、どういう観点で行うのか。

<事務局> アプリについては、教育委員会が管理しており、学校がアプリを入れた場合であっても教育委員会の担当に連絡し、制限解除をしないとインストールできないという形で制限している。サーバーは、クラウドという形でマイクロソフトのクラウド、iCloud（アップルのクラウド）にある。ハード自体の容量は32ギガでありあまり大きくないため、データはクラウド上で保存することになっている。

評価方法については、現状まだロイロノートで提出したものを評価するところまでにはっていない。3観点でいうと、「知識・技能」の部分になると思う。本来であれば「思考・判断」につなげるためのツールだが、まだそこまでは至っていない。また評価基準についても、明確な基準を設けなければ評価できないため、今後学校で整理していかないとはいけませんが、そこもまだ具現化するところまでは至っていない。

<委員> 京都府の学力診断テストを、タブレットを利用して行うようになるというのが報道されていたと思うが、町はどうするのか。

<事務局> 実施は来年からで、今は準備中。タブレットに学習eポータルというものが入っており、それと文部科学省のMEXCBT（メクビット：文部科学省CBTシステム）という学習システムと紐づけをしていくことになる。現在は、3校とも登録が終了している。今後実証実験を行ってから次年度に実施。国の学力・学習状況調査でも、中学校英語でMEXCBTを使って実施すると聞いている。

<委員> システムを利用して学力テストを受けることで、何が評価できるのかが問題。知識量や計算力など数値だけに評価が偏るのではないかと心配している。

<事務局> システムを使うことによってデータの集約が早くなることで、一人ひとりの学力や、経年の学力推移などを分析しやすくなり、より児童生徒にフィードバックできるということを言われてはいるが、確かに数字だけが一人歩きしてしまったら、本来数年の長いビジョンで見るべき子どもたちの学力の変化に目が向けられなくなるので、その点には気をつけないとはいけない。

<委員> 学力テスト自体は、その問題の中で思考力や判断力、表現力、あるいは意欲等もはかれるように考えられているとは思いますが、タブレットでテストを受けることによって、タイピングやソフトの活用能力等で個人差が出てこないかと危惧している。技術面で個人差の出ないような配慮をお願いしたい。

<事務局> 今後検証を進める中で、子どもたちが技術的に回答できるのかどうかなどをしっかり見定めていきたい。

<委員> 現状で、子どもたちはどのようにタブレットを使った学習に取り組んでいるか。あまり興味のない子もいるのか、そうではなく、みんなが興味を持って取り組んでいるのか。

〈事務局〉先ほど説明したロイロノートについては一年生でも私が使うよりスムーズに利用している。高学年になるにつれ、他の児童生徒との意見の共有などができるようになってきている。ただ、やはりデジタル機器であるので不慣れな子がいるというのは聞いているが、個別にフォローするなどして対応できている。

#### イ 社会教育課所管事項について

##### ・グリーンライフカレッジ開講式等について

(説明) グリーンライフカレッジ開講式、またことぶき大学開校式について、コロナ禍で2年開催できていなかったが、今年3年ぶりに開催を予定している。7月16日午後1時半から3時半で、尼僧の露の団姫(つゆのまるこ)氏の講演を予定している。3年前まではことぶき大学は年間10回の開催だったが、今年度は回数を減らして実施する。

##### ・「宇治田原町生涯学習推進計画」素案に対する住民意見募集(パブリックコメント)結果とその回答について

(説明) 本年度策定する宇治田原町生涯学習推進計画の素案について、4月11日から5月11日の間、住民の皆様方に提示し、意見募集を行った。その結果、1名の方から7件のご意見を頂戴した。計画については修正を加えず、今後の事業実施の中で対応することとしたい。今後、5月27日の生涯学習推進協議会でこの素案やパブリックコメントの結果を報告し、最終的なとりまとめ及び議会への報告を予定している。

#### 5 その他

##### ・なし

#### 6 閉会 教育長が第5回教育委員会定例会の閉会を宣言する。